

6階東病棟

診療科

循環器内科、心臓血管外科

病床数

51床

看護師数

看護師長1名、副看護師長4名、看護師26名

主な疾患

不整脈・虚血性心疾患・弁膜症・心筋疾患・心不全・大動脈疾患、末梢動脈疾患

治療・検査

心臓カテーテル検査、冠動脈カテーテルインターベンション、カテーテル心筋焼灼術
デバイス植え込み（ペースメーカー/植込み型除細動器（ICD）/心臓再同期治療（CRT））
経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI / TAVR）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip®）
左心耳閉鎖システム（WATCHMAN®）、卵円孔閉鎖術（PFO）
冠動脈バイパス術（CABG/OPCAB）、弁置換術（開心術/低侵襲心臓手術（MICS）
大動脈人工血管置換術/ステントグラフト内挿術（EVAR/TEVAR）

循環器疾患をもつ患者さんは、急変の危険性が高く致命的となりやすいため、看護には急変の予測、異常の早期発見、迅速な対応といったテクニカルケアが求められます。

大動脈疾患、虚血性疾患、弁膜疾患、心筋症、末梢血管疾患など多岐にわたる循環器疾患の特性に合わせ、術前から術後急性期を経て退院までの周術期ケア、薬剤管理、心臓リハビリテーション、日常生活援助・指導、入退院支援を行っています。

低侵襲手術などの高度化、多様化する手術形式、手術適応の拡大にも対応し、医師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカー、心不全センターなど多職種でより質の高いチーム医療の展開を目指しています。

患者さんが退院後もセルフケア活動が促進、継続できるように、入院早期から個別指導を行い、患者さんに寄り添う看護を提供しています。

看護の特徴

